



みどり

グリーンヒル
だより
2018年
〈秋号〉

「グリーンヒルの心」

一、ご利用者の笑顔を大切に
私たちはご利用者の方々が常に快適に過ごせるよう、ハートフルな福祉・介護サービスでQOL（生活の質）の向上に努めます。

二、地域福祉のパイオニアたれ
私たちは、地域との連携を図りながら、福祉・介護サービスを積極的に展開し、地域福祉の先駆者としてチャレンジしてゆきます。

三、学ぶ姿勢を大切に
私たちは、常にご利用者の方々から学び、「目配り」「気配り」「声かけ」ができるように自己研鑽をすすめてゆきます。

「ご挨拶」 理事長 津川 恵美子



暑い夏が終わり、涼しくなってきた九月十八日・十七日と恒例の敬老会行事が行われました。毎年十五日頃になると、高齢者に関する新聞記事が紙面に出ます。今年も、松戸市在住の一〇七歳の男性が、今でも毎日畑仕事を欠かさないとの記事を見つけ、健康で長生きの秘訣は「気を長く持つことだね」とのコメントに最近良く目にし、また耳に聞く「人生百年時代」

の生き証人であり、お元氣そのまの写真に驚きかつ、尊敬の念がわいてきました。

十七日のグリーンヒル敬老会には八千代市の服部市長も来苑され一〇〇歳以上三名の方に国からの賞状と記念品をお渡し下さり、その内のお一人の男性は、感想を求められると「まだまだ、これから」との力強いお言葉を頂き、その姿は正に「人生百年時代」と言う言葉がピッタリの方でした。その後、デイサービス利用の女性は米寿、八十八歳ということでした

が、本当にお元氣で、イキイキとお話しされる姿に、私も嬉しくなりました。恒例のくす玉割りでは、その一〇〇歳の男性と共にくす玉を割られ、会場は笑顔でいっぱいになりました。人生百年、これからも元氣にお過ごしください。

私共の法人の歴史は昭和三十七年に始まった八千代台の「朝戸医院」、そして昭和五十六年の「グリーンヒル」です。医院は朝戸病院へ、そしてセントマーガレット病院と姿を変え、五十六年間八千代市の医療の一端を担ってきました。グリーンヒルは八千代市で初めての特別養護老人ホームとして始まり、三十七年間、介護分野を担ってきました。五十六年前、翠耀会の故・朝戸会長は印旛村から往診の依頼が入り、八千代台からバイクに乗り、患者さんの自宅に向かったと聞いています。今では近隣に大きな病院ができ、地域の方も困ることはないと思います。三十七年前はグリーンヒルも入居される方が

お元氣で、職員と共に草むしりやオムツ替えをして下さる方もおられました。

今時代は大きく変わり、医療と福祉はどんどん近づいてきています。医療も「治療」から「癒し」「看取り」へと、今後は



さらに姿を変えていくことでしょう。「生活の質の向上」を大切に、グリーンヒルも一層の努力を続けて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

ご紹介！管理栄養士である木下副施設長は、平成十六年厚労省の「高齢者の食事（栄養ケア）の在り方」の委員に選出され、全国九千の特養の代表として、厚労省の幹部、日本医師会、看護協会などの代表者と肩を並べ、特に現場の声を強調し、今日の栄養ケア・マネジメントの基礎を構築されました。これからは高齢者のため宜しくお願い致します。

施設長 津川 康二

栄養改善功労千葉県知事の栄をいただきました。偏に数えきれないほどのご指導ご支援の賜物と感謝の思いが脳裏によぎってまいりました。

当施設のご利用者の食・栄養管理は多職種協働が築いた柱にあります。嚥下困難食のやわらぎ膳（食感の柔らかく嚥下にやさしく）は、食べる喜びの極を求めたいは私の務めであります。これからは職責に研鑽を重ねて参る所存でございます。

管理栄養士 木下福子

上高野敬老会



くす玉大成功

八千代市長より授与



9月16日(日)・17日(月)と敬老会を開催いたしました。

些細なことにも幸せを感じ、生活を送っていただきたいという思いから、今年は『幸(さち)』というテーマで行いました。その模様を一部ですが、写真と共にご紹介



します。16日は食事会・お茶会を中心に会場をなのはな・みどりと分かれて行いました。みどりでは「風梨音の会」による敬老会コンサート。ピアノも加わり、木管との六重奏で、皆さん生演奏に耳を傾け、静かに聞き入っていました。



なのはなでは、大平神州・花風先生による「詩吟」。いろいろな仕掛けにビックリされる場面もありましたが、皆さんとても堪能された様子でした。午後は、虚弱者・経管者を対象になのはなににてお茶会を行いました。音楽クラブの小野尾先生が所属している「我楽多ばんど」による演奏会では、箏・ハーモニカ・キーボードと色々な楽器の音色に魅了されていました。

17日は式典から始まりました。今年は喜寿・米寿・白寿・紀寿(100歳)合わせて10名の方が対象で、賞状・記念品の贈呈。紀寿の方3名には八千代市服部市長より賞状と記念品(銀杯・今治タオル)の贈呈が行われ、皆様に拍手でお祝いされました。アトラクションでは、「八千代絆クラブ」様による舞踊が行われ、華麗な舞に皆様の目が釘付け。ここで第1部の式典が終了となりました。食事会はみどり・若葉と分かれて行い、みどりでは野口職員の体を張ったアトラクション。キスのプレゼントも?!若葉ではご利用者・ご家族・職員でクイズ大会を開催し、頭を抱えながらも楽しく笑顔で参加いただきました。今年も無事に敬老会を終えることが出来たのは、ボランティアの方々、食事やおやつ等のメニューを調理して頂いたニッコトラスト様、その他関係各所、職員の協力があったこそだと感じております。ご協力ありがとうございました。

【 主任 小柳 信也 】





八千代台敬老会



こちらも大成功!

表彰&贈呈

ご家族と一緒に



9月16日(日)・17日(月)の2日間にわたり、今年も敬老会を開催いたしました。テーマは『粹』～姿～。ありのままの姿をという意味が込められています。とりわけ、八千代市長をはじめご祝辞を賜りましたご来賓の皆様、記念写真でご協力を賜りました和田写真館様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。会は、賀寿対象者表彰から始まります。今年度の対象者は、25名。施設内、最高齢は小規模多機能型居宅介護サービスに登録されている方で紀寿(100歳)を迎えられた方が1名、続いて特養のご利用者で白寿(99歳)を迎えられた方が2名、卒寿(90歳迎者)の方が3名、米寿・喜寿の方が2名と人生のお歴々が名を揃えます。記念写真やお祝い品、表彰状でおめでたい日の記念とさせていただきます。表彰に続いて「敬老くす玉割り」、お引き受けいただいた男性・女性のご利用者代表がしっかりと紐を握り、力強く紐を引いた時に金銀紅白の鶴亀が舞い、今年のくす玉割りも大成功に終わりました。そのあとはアトラクションへと移ります。16日にはフルーツ・ピアノ演奏(代表:五味様)、クラリネット演奏(タナチルクラリネットアンサンブル様)と、秋の演目を中心に、音の奥深さを感じさせていただきました。恒例の職員アトラクションも披露させていただき、完成度はいまいながらも練習の成果は発揮できたかと思えます。17日には武村流昴寿朗会様による舞踊の披露、大人・子供舞手の舞に観客席からは「やっぱり上手ねえ」等の声、舞に集中し、顔ながら見ていた方が印象的でした。続いてキッズルームの子供達による踊りの披露。また、キッズルームの卒業生による空手(型)の披露と、どの演目も大きな拍手に包まれました。午後には、食事会、またケーキバイキング・和菓子バイキングでご利用者・ご家族・職員とで楽しいひと時を過ごさせて頂きました。今年もご家族・各関係者の皆様の協力を得ながら、無事に敬老会を終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。我々職員、皆様には今後も健やかにお過ごしいただけるよう、日頃のケアに引き続き務めて参りたいと思います。今後ともグリーンヒル八千代台をどうぞ宜しくお願い致します。



【主任 角掛 竜】



特別養護老人ホーム グリーンヒル

1丁目

丁目は、企画にて京成バラ園に行ってきた。あいにく天気

があまり良くなく、台風の影響で花があまり咲いていませんでしたが、外の空気に触れ、バラ園のバラアイスを食べ、ご利用者はとても喜ばれていました。苑で普段なかなか出来ないことを、月に一回の企画や誕生日などで外に出掛ける機会を設け、楽しんでいただいています。



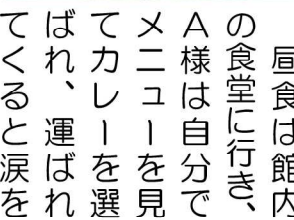
また、企画では季節に合わせたものも取り入れるようにしています。これからもご利用者の皆様が楽しんで頂けるような企画をどんどん行っていききたいと思えます。

【サブリーダー 角田 里和】

2丁目

九月二十七日に、ご利用者三名と職員三名で葛西臨海水族館に行きました。出発時には止んでいた小雨が、道中に降ってきてしまいました。入園・見学

は問題なく行えました。水槽の中を泳ぐマグロを見て、何度も「大きいね」と見上げていたS様が印象に残っています。



流しながら召し上がっていました。天気は良くなかったのですが、いろんな魚が見れて、皆様楽しまれたご様子でした。

【副主任 一戸 則夫】

3丁目



先日、ご利用者と国立佐倉歴史民俗博物館へ行ってきました。天気も良く、外に出ると、皆様「外は気持ちいいね」と笑顔で話されています。



使っていた農具等の展示物を見て、「昔はこんな感じだったんだよね。」と懐かしむ様子が見られるなど、興味深げに館内を見ておられました。最後に、苑の皆様へのお土産と一緒に選んで購入し、帰路につきました。帰りの車内では、「楽しかったね。また出掛けたいね。」と話され、満足して頂けたご様子でした。また楽しんで頂ける外出をしたいと思えます。

【副主任 新山 哲】

高齢者複合ケア施設
特別養護老人ホーム
地域密着型
グリーンヒル八千代台

今回、グリーンヒル八千代台特養からは、秋の行事また誕生日企画についてご紹介いたします。



まずは、毎年恒例となりました「秋の秋刀魚企画」。家族会の青木会長のご協力の下、ご利用者の皆様と火起こしから始め、秋刀魚等秋にちなんだ食材を網の上で焼き、焼き立てを召し上がっていただくという企画です。

秋刀魚から油がしたたり落ち、



「パチパチ」と炭が音を立て漂う匂いに、ご利用者の皆様もまだかまだかとその様子をうかがっておられました。出来上がりを今年は栗ご飯と一緒に召し上がっていただき、皆様からは「美味しいねえ」とご好評いただきました。

続いては誕生日企画です。ご利用者本人様から「何がしたい、これがない」という要望を伺い、その要望になるべく応えられるよう担当者が企画します。写真にあるように、普通っていたデザートでラーメンが食べたいという要望に合わせて、その場所への外出（外食）、または昔から花（園芸）が好きという方には、お花のプレゼントといったように、「その方のこだ



八千代台コアエルムへ外食

誕生日企画



わりを大切に」ということを意識しております。

今後も、ご利用者の皆様の「こだわり」を大事に、様々な企画を立て、少しでも喜んでいただけるよう努めていきたいと思っております。

【主任
角掛 竜】

グリーンヒルデイサービスセンター



敬 老の日の十日間、敬老会を開催しました。毎日「敬老の心」をもってご利用者の皆様と関わ

らせていただいておりますが、私たち職員にとつて、日頃の感謝の気持ちを改めて伝えることができることも良い機会となっております。ご利用



おめでとうございます！



なのはなテイルームでは、お一人おひとりの趣味や特技を發揮し、お仲間と一緒に楽しみを共有していただける環境作りを心掛けています。皆様のやってみたいことをなんなりとお聞かせください。一緒にいかがでしょうか。

【 相談員 煌りリーダー 南 祐介 松本 志保 】



者・ご家族の皆様・ボランティアの方々・学生の皆さんと多くの方々にご参加いただき、皆様と一緒に作り上げた心のこもった素敵な敬老会となりました。本当に、本当にありがとうございました。普段、民家デイの私共はいつもがとうございます。敬老会でもとうございます！そして恒例となります、野間様の紙芝居。今度は同じくご利用者の立場が「ぜひ協力したい」と紙芝居を手作りして下さいました。気持ちのこもった紙芝居に、野間様のお声にも一層力が入ります。

サテライト南デイホーム

サ テライト南デイホームです。色々な所に出没します（笑）

今年は初めて、本部の敬老会に参加させていただきました。普段、民家デイの私共はいつもラフですが、今年は式典や食事会、アトラクションなど施設に行かなければ体験出来ないことをご利用者に体験していただきました。ご協力ありがとうございました。

夏場はおとなしく、デイホーム内で過ごし、皆様の体調維持に努めました。

【 ケアワーカー 江川 裕 】



展示作品制作



布アート完成！



セピア色の写真館



平成22年12月11日 撮影



母は、京都府の舞鶴市からやって来ました。舞鶴は、双葉百合子さんの「岸壁の母」で有名になり、車で一時間ほど行くと、日本三景の一つ、天橋立があります。舞鶴には大きな港があり、北海道の小樽を結ぶフェリーの発着港です。関西と北海道を結ぶ重要な港になっています。第八管区海上保安本部があり、福井県、京都府、島根県の一府

四県を管轄しています。母は、長年内職で洋服を行ってきました。手先はとても器用です。裁断された生地を受け取り、洋服に仕上げしていくのは凄いなと思って見ておりました。父が元気な頃は、助手として遣っていたようです。父は国鉄マンで、東舞鶴の駅に勤めていました。退職後は、趣味の魚釣り、日曜大工、母親の内職を手伝う等の生活を送っていました。両親は、益と正月に息子の家族が押しかけてくるのを楽しみにしていました。孫に連

土肥 良枝 様 土肥 紳一(長男) 様記



平成13年12月29日 撮影



平成22年3月17日 撮影

れられて、近所のテパト(ラポール)へ行き、オモチャをおねだりされてるのが楽しみだったようです。当時三歳だった孫の一人は来年成人を迎えます。

前に両親は喜んでいました。

両親は旅行が好きで、丹後半島の経ヶ岬で撮影した写真です。この頃、父は杖を手放せなくなりしました。珍しく家族四人だけが揃ったことがあり、酒が進んだことを思い出します。大きくなった息子達を

除夜の鐘を聞くたびに年をとり、父は段々脚力が低下し、母親の介添えの元、トイレに行くようになりました。食も細くなり、好きだったお酒も飲まなくなりしました。父の世話を母が一人で面倒見ており、その負担は計り知れなかったと思います。息子の帰省など、訪問客があると、母の晩酌が進み会話が弾みました。父は耳が遠くなり、母と噛み合わない会話をしていたのが、とても滑稽だったことを思い出します。

その後、父は病院通いを強いられるように

なり、母が付き添っていました。最後に入院したのは平成25年12月10日、12月26日に他界しました。母の舞鶴での一人暮らしが始まり、父の介護から解放されたものの、生活の張り合いが無くなったようでした。段々、自分の食事を作るのも面倒になり、簡素な食事で済ましていたようです。その影響は、体重の低下、体力の低下を招き、平成27年8月12日舞鶴医療センターへ入院しました。その後、一旦退院するものの、9月1日に脳梗塞で手折り、舞鶴医療センターへ緊急搬送されました。実家に一人で置いておけない状況に陥り、リハビリテーションを目的に10月26日に八千代リハビリテーション病院へ移りました。このタイミングで舞鶴市民から八千代市民になりました。リハビリの効果があり、12月16日にグリーンヒル八千代台へ入居させていただきました。早いもので、間もなく3年になります。高齢化社会が問題になっていますが、まさに直面し、その大変さを痛感させられた出来事でした。

グリーンヒル八千代台の皆さんはとても親切で面倒見が良く、母がとても気に入っております。入居当初の正月は、息子達の家に外泊することがありましたが、最近、外泊を持ちかけても「私はここに居るのが一番や」と拒否されてしまいます。スタッフの皆さんの心温かい対応に、とても満足しているようです。食事も自分好みにアレンジしてもらえ、敬老会、クリスマス、正月のイベントなどが開催され、喜んでおります。今後とも母をよろしくお願い致します。

小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台 サテライトグリーンヒル勝田台



小規模多機能型居宅介護グリーンヒル八千代台では、春の行事「お花見」・夏の行事「夏祭り」・秋の行事「敬老会」・冬の行事「お餅つき大会」をメインに行っていますが、日々の活動もボランティアの皆様のご協力を頂きながら、色々なプログラムを用意し行っています。毎日、午前には個々の趣味活動・嚙下体操、午後にレクリエーションを行います。レクリエーションでは、ボランティアの方が訪問され、詩吟や音楽セラピーで楽しく頭や手先の運動、相撲甚句やフラダンス等を鑑賞したりとスタッフの進行によるゲームを行っています。皆様と共に楽しいひと時を過ごしていけるよう活動しております。今後とも宜しくお願い致します。

【 ケアワーカー 本田 知美 】



勝田台ステーションギャラリー

8/29～9/1まで、勝田台ステーションギャラリーにて展示会が開催されました。小規模多機能型居宅介護グリーンヒル八千代台・勝田台ご利用者の作品や地域サークル活動の方々による作品を展示させて頂きました。期間中、沢山の方々にご来場頂き、ありがとうございました。【 主任 吉村 宣博 】



Thank You

放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ

『グリーンヒルキッズ』の子供たちの代表がFMふくろうキッズ放送局に出演しました。放送では、グリーンヒルキッズでの毎日の活動や夏休みの様子を紹介しています。

子供たちは夏休みの間、自分たちでそれぞれの言葉をつないで原稿を作りました。二学期になってからは、みんなで読み合わせの練習をして、協力しあうこと、譲り合うこと、チームワークの大切さを学ぶことができました。そして迎えた本番！はじめてのラジオスタジオでちよっと緊張しましたが、ヘッドホンをつけると・・・だんだん調子が出てきて、一人ひとりが「がんばってよかった！」と思える良い体験となりました。子供たちの未来の選択肢がまた一つ増え、チャレンジした後の満足感が、子供たちの自信につながる機会にもなり、とてもうれしく思います。

秋は学習に遊びに最適な季節なので、大いに体と頭を動かし、元気に楽しく活動していきたいと思えます。『子どもアーティストたち』がクレヨンやマーカーを手に自由に描いた絵やお習字をご紹介いたします。

一学期も子供たちのそれぞれの目標に向かって、子供たちの持つ力を十分に活かし、伸ばしていけるよう支援をしてまいります。

【 管理者 穴倉 富子 】

キッズギャラリー



元気なお習字が書けたよ！



ハロウィンの壁画完成！



壁画制作中



公園で芝すべり♪



「ウォーターロケット」が動くよ！

10月 KIDS RADIO 31日

ふくろうキッズ放送局

FMふくろうキッズ放送局に
ラジオ出演しました！



キッズでは
「マイクラごっこ」が
ブームだよ



市川現代産業科学館で
ふしぎを発見したよ！

短期入所生活介護（ショートステイ）とは？



ショートステイとは在宅サービスの一つです。在宅で介護を続けていると、主介護者が精神的な

疲れや肉体的な疲れを感じ、休息が欲しいと思われることや、お仕事の関係やお子さんの学校の用事、冠婚葬祭など諸々の理由で自宅を丸一日から数日間空けなければならぬことがある、そのような時にご利用いただくのがショートステイです。食事・入浴等、ご本人が出来ない日常生活において必要な部分を施設にて支援していくサービスです。もちろん介護保険法では自立支援をうたっていますので、施設の中でご自身の出来ることは無理のない範囲で取り組んで頂きます。

主介護者にとって、預かってもらえることは安心につながるでしょう。しかし、当人にとっては環境が大きく変わってしまうこととなります。家とは違った雰囲気、時間の過ごし方が違う、見知った方がいない、特定の友人を作りづらい等からストレスや不安を感じてしまう方もいます。身体症状として便秘や熱発を引き起こす方もいます。認知症の方は混乱を起こしてしまうこともありますので、ご本人の変化には注意が必要です。慣れていただく為にも、**少しずつ利用を重ねていくことが大切なポイント**になるでしょう。

サービスを利用したいと思った時には、早めに担当の介護支援専門員にご相談下さい。いつから、どのくらいの期間を利用したいのか、初めての場合は『多床室』がいいのか『個室』がいいのかもお伝えするといいでしょう。利用料金は介護度によって基本料金が変わってきます。加算料金も施設によって違ってきます。また、お食事代やお部屋代も介護保険とは別に徴収されます。（但し、個人により負担限度額が設けられていますので、詳細は介護支援専門員に相談下さい。）また、初めて利用される時には、雰囲気を知るためにも施設見学をお勧めします。

【 ショートステイ担当 舟越 敦子 】

社会福祉法人 翠耀会

- 特別養護老人ホームグリーンヒル
- グリーンヒル短期入所生活介護
- グリーンヒル居宅介護支援事業
- グリーンヒルデイサービスセンター
- グリーンヒル訪問介護
- グリーンヒル福祉タクシー

〒276-0022 千葉県八千代市上高野2058-5
047-484-6111 (代) / 047-485-8007 (FAX)




- グリーンヒルサテライト南デイホーム

〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-24-22
047-484-2735 (FAX兼用)

- 八千代市勝田台地域包括支援センター

〒276-0023
千葉県八千代市勝田台1-16
京成サンコーポ勝田台E棟111号室
047-481-3515/
047-481-3522 (FAX)



- グリーンヒル八千代台小規模多機能型居宅介護
サテライト勝田台

〒276-0023 千葉県八千代市勝田台1-7
京成サンコーポ勝田台D棟208号室
047-485-1088 / 047-481-8354 (FAX)

- 特別養護老人ホームグリーンヒル八千代台
- 短期入所生活介護グリーンヒル八千代台
- グリーンヒル八千代台居宅介護支援
- グリーンヒル八千代台小規模多機能型居宅介護
- グリーンヒル八千代台訪問介護
- グリーンヒル八千代台キッズルーム

〒276-0034 千葉県八千代市
八千代台西7-2-69
047-480-2777 (代) /
047-480-7770 (FAX)



- 放課後等デイサービスグリーンヒルキッズ

〒276-0029 千葉県八千代市村上南1-10-3
G・STARマンション1階B号室
047-455-8585 (FAX兼用)

- 放課後等デイサービスグリーンヒルキッズゆりのき台

〒276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台3-3-5
AHCゆりのき第2ビル1-101
047-411-5711/
047-411-5721 (FAX)



まずはお気軽にお問い合わせ下さい。
ホームページ：http://www.greenhill.or.jp/